



ジェントル通信

8月号

こんにちは！笠松です。

夏真っ盛りの8月！我が家の子供達は夏休みですが、僕が大忙しで休みがない。有難いことです。が、子供達からクレームがきそうです(笑)

ですので先手を打って、大きめのプールを自宅、駐車場に設置しました。夏を楽しんでくれ子供たちっ！



小さい頃、男の子だったら一度は夢見る、アニメのヒーローの様な無敵の存在。現実でいうとボクシングの世界王者や不屈の精神で逆境に立ち向かうアスリート。大人になった今でも憧れる無敵の存在。『無敵』の言葉の意味は一般的に、相手になる敵がいらないほど強いことや、対抗できないほど圧倒的な存在を意味しますが、社会的な『無敵』は対立や敵意を生まないこと。ですので、社会生活で無敵の意味をはき違えると、とても生きづらくなっていくのがオチ(笑) 圧倒的な強さがほしいと思う人は少ないかもしれませんが、対立や敵意を向けられたくない方は多いでしょう。人間関係の対立や人から敵意を向けられることがあったり、もしくは物事が上手く行かなかつたりする原因は：相手の『言葉や表情』物事の『表面にしか見えていない事実』だけにしか着目していないときに起こる。その問題が、大きくても小さくても同じで、小さな問題に気付かず、もしくは気にせず進んでしまうと大きな問題へと発展してしまうことは多い。失敗したことを後から考えると、意外と小さなきっかけから始まっている：そんな経験ありますよね？ 自分自身では気づかない物事の奥に隠されている問題。少しでも皆さんの問題解決をしたい。その為、箕面店では、暮らしに関わる沢山の相談窓口を用意しています。自分だけで抱え込まず、まずは頼ってみてください。

今月の忘れられない教訓

感覚・経験よりも大事なことの巻

「考えるなっ！感じろっ。」

(ブルース・リーの有名な言葉)

最近はずっと聞かなくなった。小さい頃よく言われたような記憶がある言葉...

今の時代、学校の教師がそういう教育をするとネットやテレビで叩かれるんでしょうか？(笑)

20代前半から、大工を初めて『直感』や『感覚』というのは自然と鍛えられた気がする。例えば初めてお客様のお宅にお邪魔すると家に感じる違和感「家の傾き・柱の傾き・湾曲」など。

新築を建てる大工ならではの感覚ですが、家の傾きや床鳴りなどは直接のクレームに繋がりがやすく、職人時代からかなり敏感になります。

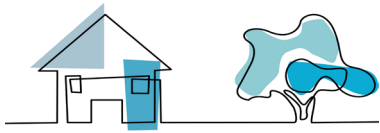
家の不具合は感覚ですぐに気づきますが、それ以外のことには鈍感な方かもしれません。唯一役立つのはゴルフのグリーンへの傾きが分かるくらいのもの(笑)

現場で職人が失敗や勘違いをして工事を進めてしまう原因の多くは、今までの経験や直感が働き自分本位に工事を進めてしまった時によく起こる。

職人と僕は、同士でもあるので他社さんと比べて仲は良いほうだと思います。ですが、なれ合うつもりはなく、たまには小姑のように接し、細かな指示やお客様の要望とのズレが生じていないかを細かくチェックします。

「感じて、考えろっ！」
自分に良く言い聞かす言葉です。





今月のお宅

家は、その家族の暮らしを映す。
既に職業病だと自覚しながら...今日も
誰かの住宅を見て想うことを綴ってます

今月の僕が記事に取り上げた一軒は...

敷地100坪、築55年・鉄骨造母屋55坪・木造離れ28坪の家

先月の「不動産」の学び場に参加された50代後半の女性。

本人曰く

「本当に無料で相談に乗ってもらえるのか、半信半疑で…」

「近くの不動産屋さん・工務店に相談するとトントン拍子で話が進んでいきそうで怖かった。

「何度かジェントル通信を読ませていただいているうちに、大丈夫と少し期待して来ました。」
...とお話を聞いていく中で嬉しい言葉を頂きました。

皆さんが家建てたり・リフォームを考えるときの不安要素

- ・プロの意見を聞きたい、相談したいけれど営業されるのが怖い
- ・今すぐの話ではないので進められると困る
- ・そもそも信用できる会社かどうか不安・だまされるのが怖い

家は生活必需品の中では最も高額な物です。間違った判断をして失敗したくないと思うのは当然のこと。だからこそ自社では、「お客様と工務店」という関係ではなくフラットに話せる関係性を築きたい。お互いが一線を引かずアドバイスや相談を重ねていく先に、その方にあった最良の決断ができると思っています。

今回の相談内容

現在家族3人(大人2人・子供1人)で暮らされている家が築55年、敷地は100坪あり母屋約55坪に、離れ約28坪の家が建てられている。3人で暮らすには大きすぎると、維持するメンテナンス費を工面するのも大変でこの先ずっと住んでいけるのか心配。

祖父の時代に建てられたその家は、盆・正月には親戚兄弟が集まって賑わう憩いの場でしたが、時間が経ち集まる回数も減っていき、今では漏電や雨漏りに悩まされ困っている。いっそのこと建て替えたいが、兄弟・親族の声もあり中々決断できずにいる…

現状100坪の土地の東西に建物が建っている。本当は建て替えたいが資金的に厳しいので売却も視野に入れている状態。

色々とお話を聞く中で、この土地周辺の土地相場を調べると、建物全体を解体して土地半分を売却すると、建て替えに必要な費用は十分に確保できることが分かった。

先に土地半分を売り、売れたお金で建て替えるという流れ。今回は角地だったので右図左側の一方通行接面の土地を売却地とご提案しました。

実家敷地を活用した住み心地や将来の相続対策も含め希望が見えて少し安心されたように見えました。

建て替えの場合まず気になるのは費用。その他片付け・不用品処分(売却)・税金対策・相続・仮住まい・新居の構想など沢山の要素が絡んできます。一つ一つ不安をなくしていく事で、新しい選択肢が見えてくる事を願っています。

